

第171回:水滸伝にみる指導者像

冒頭から私事で恐縮だが、若い頃から中国業務に携わってきた筆者が、サラリーマンとして何とか大過なく勤め上げることができたのは、経済成長著しい中華人民共和国のおかげである。当時の中国经济には運氣上昇の卦があつたからこそ、中国企業向けシンジケートローンも何件か組成できたし、多少は日本の取引先企業のお役に立てたと思ふ。胡散臭い中国企業にも金を貸した覚へがあるが、天佑と神助とに因り不良債権のババも引かずに済んだ。その大恩ある大国に対して、辛口批評ばかりしてみると天罰が当たる懼れがあるので、たまには大好きな中国文学の話でもしようか。

中国の「四大奇書」と云へば三国志演義、水滸伝、西遊記、金瓶梅を指す。残念なことに金瓶梅は潘金蓮と西門慶の淫婦姦夫がくんずほぐれつ、やつさもつさする閨房の場のみが強調され、頭の固い中国共産黨は黄色小説(ポルノ小説)として、長くその発行を禁止してきたが、三国志、水滸伝、西遊記はいまもむかしも老若男女を問わず広く愛されてゐる国民小説で、日本にもファンは多い。最近物忘れが非道く、漢字が思い出せず四苦八苦することが増えてゐるものの、孫悟空の頭を締め付けてゐる輪が「きんこ」、空駆ける雲が「きんとうん」であることくらいは、いまでもしつかり覚えてゐる。でも、パソコンがないと「緊箍」、「筋斗雲」と書けないのが悲しい……。

毛沢東の愛読書は三国志であつたさうだが、中国には「少不読水滸、老不読三国」、つまり若者は水滸伝を読むべからず、大人は三国志を読むべからずと云ふ俗諺がある。こどもが水滸伝に夢中になると、嘗ての学園闘争ではないが、暴力的・反社会的な若者になる懼れがあり、一方、おとなが三国志を熟読すると、煮ても焼いても食へない邪智奸佞な悪黨になると云ふ意味だらう。

三国志と水滸伝は江戸時代に日本に伝はり、数多くの訳本と国芳、北斎の浮世絵により人口に膾炙するやうになる。日本では特に任侠の世界との相性が良かったやうで、「天保水滸伝」、「次郎長三国志」のやうなパロディ本が誕生したゆゑんでもある。

御本家の水滸伝は北宋末期、日本で云へば源氏・平氏の勃興期のころのはなしである。舞台は山東省を中心とする中国の北部、いまもむかしも汚職官吏や不正腐敗が蔓延るもろこしの国、さまざまな事情で世間からスパアウトした豪傑好漢たちが、梁山泊と呼ばれる要塞に集結し、やがて彼らは童貫、高俅といった君側の奸を打倒して国を救おうと考へるやうになる。因みに、108名の好漢は百八個の魔星の生まれ変わりだと云ふ設定で、天罡星36員、地煞星72員それぞれに首位から108位まで序列が付けられているのが、中国的と云ふか共産黨的ではある。

108星の首領は宋江、字(あざな)は公明と云ふ地方公務員。あだ名はいろいろあつて、日頃は呼保義、及時雨、黒三郎などと呼ばれてゐる宋江さん、日本の読者からみると、必ずしも英雄豪傑の風格を備えてゐるとは云ひ難い凡庸な人物で、初めて読んだとき、何ゆゑ彼が賊徒の頭目になれたのか、よく理解できなかった。職業に貴賤はないが宋江は単なる地方都市の小役人、人相風体は「黒三郎」と云うとおり、色の浅黒いチンチクリンだ。人間背が低けりや偉いと云ふものではない。「大男、総身に知恵が廻りかね」が事

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

実とすれば、「小男の総身の知恵も知れたもの」だつて真実だらう。宋江は「及時雨」と呼ばれるやうに旱天の慈雨の如く、義侠心に篤く、困窮した人に救いの手を差し伸べる立派な人物ではある。しかしながら智慧では「智多星・呉用」に届かず、武技では「豹子頭・林冲」に劣り、指導者としての風格では「玉麒麟・盧俊義」に及ばない。間男に愛妾を寝取られ、それがもつて兇状持ちとなつたやうに、少し抜けたところのあるコキユの宋江さんですら指導者になれたやうに、中国では正義感溢れる人格者であることが、統率者となる必要最低限の資質のやうだ。

このあたりのリーダーの設定状況は三国志演義でも同様である。ゲーム三国志に夢中になってゐる日本や中国の小学生に訊けば明らかだと思ふが、登場人物のなかで人気上位を占めるのは趙雲、孔明、関羽、張飛たちに決まつてをり、劉備の人気順位は後の方だらう。劉備玄德も宋江と同様に、智では諸葛亮に、武では関羽に、政では曹操に及ばぬ優柔不断のお人好しとして描かれてゐる。

はなしを現代に戻すと、世界の大国となつた中国の指導者に必要な資質は、昔も今も変わらないやうな気がする。目から鼻に抜けるやうな秀才型リーダーは日本では通用するだろうが、中国では必ずしも通用するとは限らない。一方、日本では優柔不断な性格は指導者の資質として致命傷だが、中国ではこの弱点が逆にリスク回避のメリットになることがある。

頭が切れ過ぎて結果的に周囲への気配りが欠けて仕舞ひ、独断専行と非難され、そして失脚した胡耀邦元総書記がよい例である。新中国の歴史のなかで最良の政治家であつたが、腐敗汚職問題や、政治浄化を求める学生運動、鄧小平たち長老の引退問題等において、あまりに率直に自らの見解を披露し、それが仇となり鄧小平や陳雲たち老獪な政治家から疑惑の目で見られるやうになり、孤軍奮闘のすゑ最期は息の根を止められてしまつた。あのとき胡耀邦は学生たちに対するセンチな同情など示さず、右派にも左派にも組せず中南海をオロオロ歩き、優柔不断な態度に徹すれば、みっともないが危機は凌げたはずだ。

政治でもビジネスの場でも一緒だが、中国では社会的正義や企業の最優先課題に真っ先に取り組むやうな直球勝負の人物は大成しない。役員を半分を強引に解雇して企業の正義を貫くか、企業の利益を損なつても取締役会の団結を守るかと云ふ選択において、いまの中国における正解は後者である。けさ電車のなかで水滸伝を読んでいるとき、何故かあの太公望の指導者の顔が思い浮かび、ふとこんなことを考えた次第である。もしかして彼は大物かもしれない。顔で人を判断してはならない。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。 假名遣ひママ。

平成25年6月13日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。